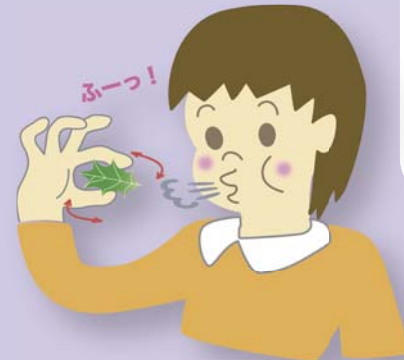
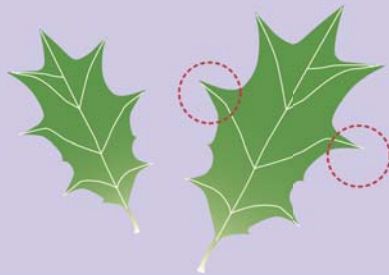


冬 winter

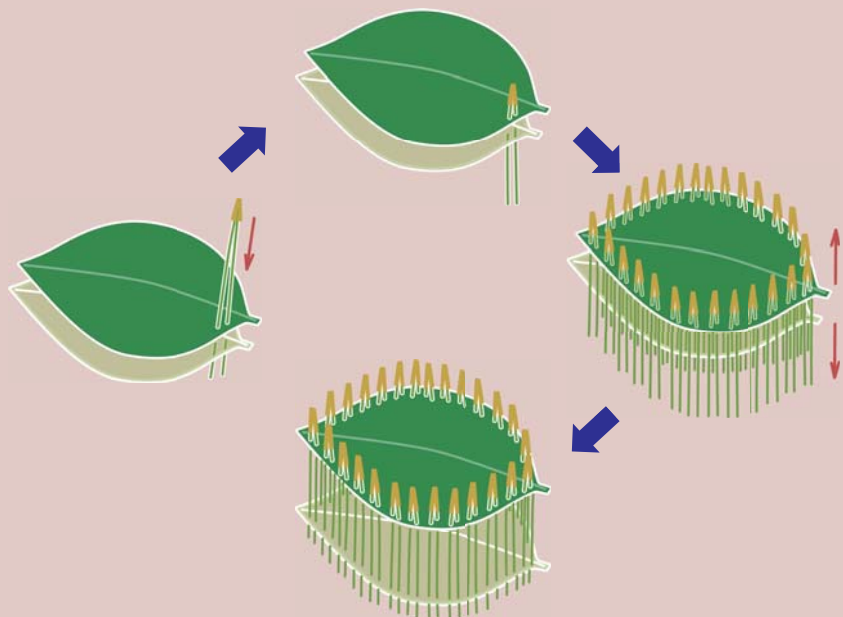
- ・ヒイラギは山に生える木ですが、庭や公園にもよく植えられます。
- ・漢字では「柊」と書きますが、冬にいいにおいのする、白くて小さい花を咲かせます。
- ・ヒイラギの葉はかたく、するどいトゲがあります。トゲを指ではさんで息を吹きかけて回してみましょ。



ヒイラギの風車



- ・ツバキもクロマツも、公園や校庭によく植えられます。
- ・ツバキは冬から春に花を咲かせます。赤のほかにも白やピンクなど、様々な色の花をつける品種があります。
- ・あついツバキの葉 2 枚に、細長いクロマツの葉を通して、虫かごを作ってみましょ。



ツバキ



クロマツ

◇一度にたくさんの植物を取らないようにしましょう。

◇毒のある植物もあります。口には入れないようにしましょう。また、遊んだあとは手をよく洗いましょ。

草花遊び

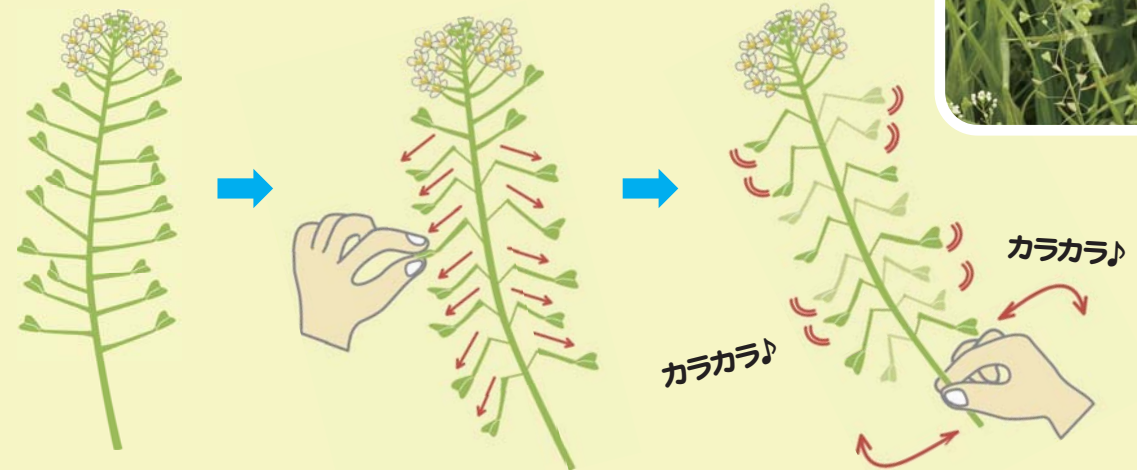
みんなで作って遊ぼう!

- ・道ばたや公園、学校などにある草や花を使って遊んでみましょ。
- ・港区でも見つけやすい草や花を使った遊び方を紹介しましょ。
- ・お父さんやお母さんはどんな遊びを知っているかな?

春 spring

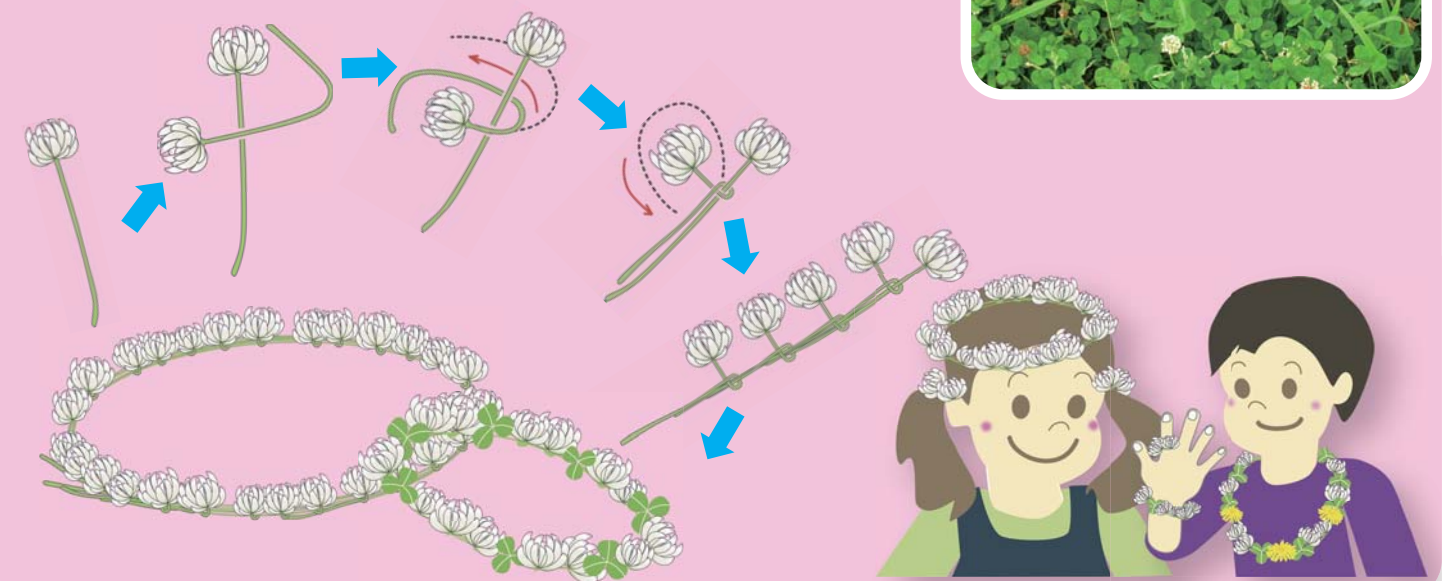
- ・ナズナは道ばたや空き地などにみられるアブラナ科の植物で、“ペンペン草”の名で親しまれています。
- ・春の七草のひとつで、おかゆに入れたりして食べることができます。
- ・ナズナの実を茎から外れないように下へ引っ張ります。それを左右にふると「カラカラ」と音がしましょ。

ナズナの楽器



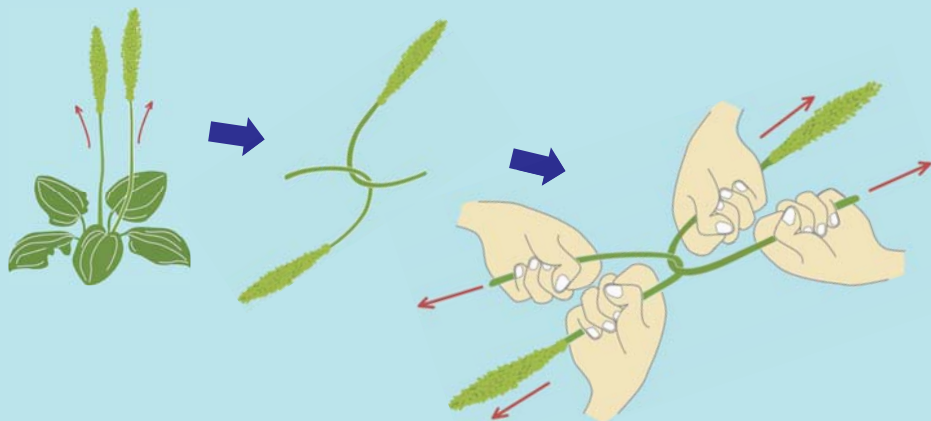
シロツメクサの花輪

- ・シロツメクサは明治時代にヨーロッパから入ってきました。各地で牧草として使われています。かつて、ガラス製品を包むクッション材として使われたことから、“詰め草”という名がつけました。
- ・小さい葉が 3 枚集まっています。まれに 4 枚集まった葉があつて”四つ葉のクローバー”と呼ばれ、これを見つけると幸せになると言われています。
- ・シロツメクサの茎を編んで花輪を作らしましょ。



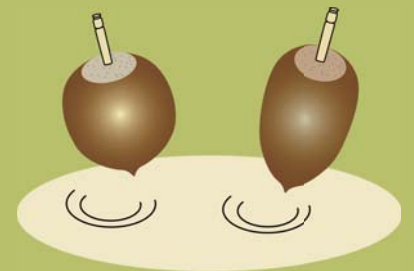
オオバコのすもう

- ・オオバコは道ばたや校庭など、人がよく踏むような場所に見られます。
- ・葉が幅広く大きいことから、“大葉子”^{おおばこ}という名がついたといわれています。
- ・長く育った莖をX字型に組み合わせて引っ張り、強さを競いましょう。



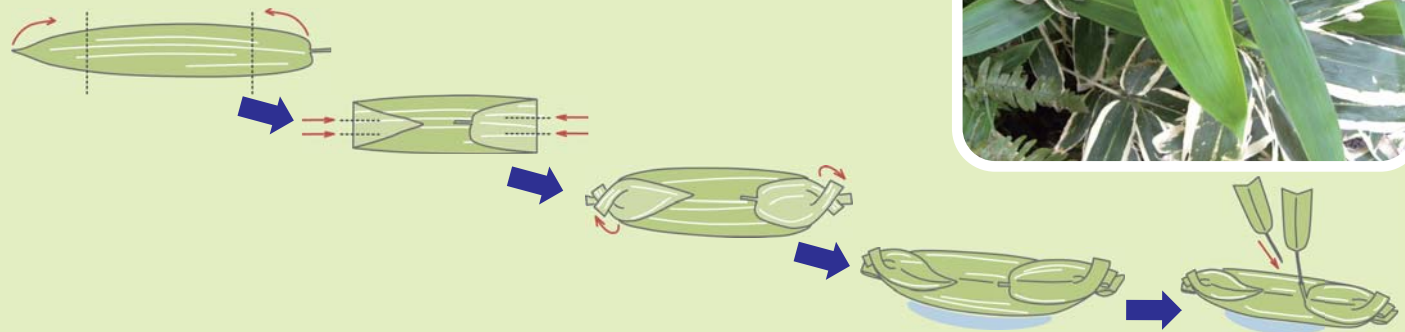
ドングリのコマ

- ・公園や校庭にはコナラ、クヌギ、シラカシ、マテバシイ、スダジイなど、ドングリがなる木が植えられています。
- ・ドングリにきぎなどを使って穴をあけ、ようじをさしてコマを作りましょう。



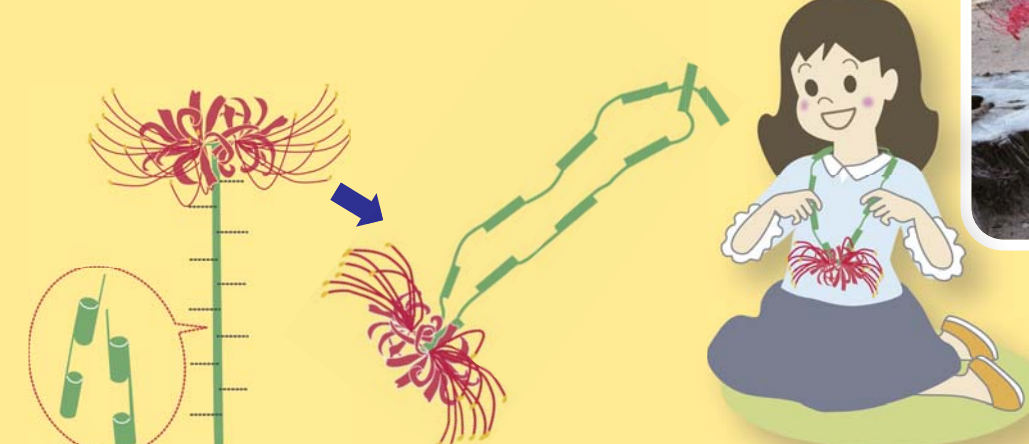
ササ舟

- ・ササには野山に生えるアズマネザサや、公園などに植えるクマザサ・オカメザサなどの種類があります。
- ・7月7日の七夕^{たなばた}には、ササにたんざくなどを下げて飾りつけをします。
- ・ササの葉を折り曲げてさしこみ、舟を作って水に浮かべましょう。



ヒガンバナの首飾り

- ・ヒガンバナは9月に赤い花を咲かせます。花が終わってから葉が出てきます。
- ・全国各地にありますが、古い時代に中国から入ってきたといわれています。
- ・皮を残しながら莖を左右に折り分けて、首飾りを作りましょう。



アサガオの色水

- ・アサガオは奈良時代に中国から薬草として入ってきました。
- ・江戸時代に様々な品種がつくられ 赤・青・むらさきなどの花を咲かせます。
- ・花を水の中ですりつぶして色水を作りましょう。



ひつつきむし

- ・オオオナモミは北アメリカから入ってきて、空き地や水辺に見られます。
- ・実にトゲがあって服にくっつきます。投げっこをしたり、絵を描いたりして遊びましょう。
- ・コセンダングサやイノコズチの実も、服によくくっつきます。



オオオナモミ



コセンダングサ



イノコズチ